

第22回 米国インターネット広告市場視察 ～アドイノベーター 織田浩一氏同行ツアー～

◆ はじめに

最先端の広告・メディア施策・テクノロジーで一步先を行く米国市場への視察ツアーをご用意しました。

米国においてインタラクティブ広告を専門にご活躍中の、織田浩一氏のコーディネートによる、最前線の現地情報のセミナー及び、インターネット広告最前線の企業への訪問をメインとした内容となっております。

また、米国ニューヨークに本拠地を置くインタラクティブ広告業界団体のIAB(インタラクティブ アドバタイジング ビューロー)への訪問も予定しております。

米国企業の最新動向を直に検証いただける貴重な機会として、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

視察テーマ

「ニューヨークで見るマーケティング・メディアイノベーション

～DXの本場で見るAI、ビデオ、サブスク、OTTの利用」

今やデジタルトランスフォーメーションはどの業界にも押し寄せているということは語るまでもありません。自動運転やシェアリングエコノミーが自動車業界に押し寄せ、メーカーは消費者に直接マーケティング・販売する D2C 形態を取り、サブスクリプション形の販売形式の小売が登場し、フィンテックやRPAが金融業界を大きく変革させています。

広告・メディア業界でも、2000年ぐらいから従来型のエージェンシー、メディア会社のデジタルトランスフォーメーションの波が起きました。Yahoo!やAOLなどデジタル第一世代企業群やThe Barbarian GroupやRazorfishなどのデジタルエージェンシーが立ち上がり、これらの企業との競争のためでしたが、その後のソーシャル化、モバイル化、ビデオなどへのシフトが起こり、従来型企業もデジタル企業もイノベーションを起こしながら、自らの変革を行って来ています。そして今回のツアーでは、それをAI、ビデオ、サブスク、OTTに焦点を当て、従来型、デジタル第一世代企業、そしてスタートアップを含めてどのようにデジタルトランスフォーメーションを起こしているかを学びます。Spotifyのように億単位で有料サブスク会員を持ちさらに成長している会社やConde Nastのようにビデオにリソースを特化する企業、HuluのようにOTTサービスの展開を進めている企業やThe Barbarian Groupのように自社に変革を起こす仕組みを導入している企業に訪問し、彼らのトランスフォーメーションの状況を探ります。

また、ツアー冒頭ではセミナーを設け、5Gの普及によりメディア・広告業界がどのように変革するのかと、マーケティング・メディアイノベーションやデジタルトランスフォーメーションに関するアメリカでの近況の説明をし、訪問前に概況を理解してもらうとともに、訪問する企業についても解説します。

◆ 本ツアーの特徴

1. 織田氏選択の8つの革新的な企業やスタートアップ企業、団体の訪問。「企業訪問」視察時は通訳(1名)が同行し、日本語によるフォローを致します。
2. 事前セミナーによりアメリカでの業界の現状の理解を深め、日本での業界の将来を占うディスカッションをします。
3. リアルの場とFacebookグループページを通じてご参加者様同士の横のつながりを構築し、帰国後もより一層の関係構築が可能です。
4. 現地滞在中は初日と最終日、2回の全体夕食会を設定しております。織田氏も同席いたしますので、さらに米国事情のお話を聞くことも可能です。また参加者同士の懇親の場としてもご活用いただけます。

訪問先企業候補

(これはあくまで候補で保証ではありません。交渉の上、アレンジして参りますので代替企業訪問となる場合がございます。 予め御了承願います)

Spotify : 音楽ストリーミングサービス

2億4800万の月間アクティブユーザーと1億1300万のサブスク利用者を誇る音楽ストリーミングサービス。収益は広告とサブスクであるが、ブランドプレイリストなど新たなブランディング手法なども展開する。有料サブスク利用者を増やすためのマーケティング施策と音声広告の現在について尋ねる。

The Barbarian Group : デジタルエージェンシー

バーガーキングのThe Subservient Chicken (言われたことをするニワトリ)のバイラルキャンペーンをCP+Bと協力して作り上げ、一気に話題になったThe Original Digital Agency (最初の、独創的なデジタルエージェンシー)と自らを呼んでいる。今ではCHeil Worldwideの傘下に入り、Samsung、Panasonic、JBLなどの業務を行うが、同時に実験的なコラボレーションをアーティストやテクノロジストと行うStranger in Residenceと言うプログラムなども行い、その結果VR体験やAmazon Alexa向けのアプリの構築などさらにイノベーションを起こしている。そのクリエイティビティの源泉について尋ねる。

Conde Nast : 媒体社

Vogue、GQ、Wired、The New Yorkerなど30弱のメディアブランドを雑誌、デジタル、ビデオ、ソーシャルで展開し、世界で雑誌では8400万、デジタルで3億6600万、ソーシャルで3億8400万のオーディエンスを誇る。ビデオ、ソーシャルに力を入れ、Conde Nast Entertainmentはデジタルビデオやソーシャルチャンネル、OTTで毎年4000以上のコンテンツを展開しているという。雑誌主体の媒体社からビデオ、ソーシャルへのトランスフォーメーションについて尋ねる。

The Washington Post : 媒体社

1877年設立の新聞社The Washington Postは、自社の部署Arc Publishingでリアルタイム広告売買プラットフォームZeus PrimeやCMS、業務管理ツールを開発し、他の媒体社にライセンスしたり、Zeus Primeを使ったプレミアムアドネットワーク構築を行なっている。従来型の媒体社から、アドテク機能を開発するようになった経緯、その成果について尋ねる。

Hulu : ビデオストリーミング・OTT サービス

オリジナルTV番組制作が活発化しているストリーミングTV・映画業界であるが、3つのメディアグループにより設立されたが今はディズニー傘下のHuluは広告モデルやケーブルTVからすると少ないチャンネルを組みあわせたサブスクリプションモデルを組み合わせ、ユニークなサービスを提供している。Disney+やAppleのサービスが出てくる中で現在の業界動向とHuluの立ち位置について訊ねる。

VaynerMedia : デジタルエージェンシー

ワイン店舗を引き継いだGary Veynerchuk氏はソーシャルビデオを利用して売上を20倍に伸ばした。そのノウハウを利用して、数々のメディアチャンネルを持つ関連会社VaynerXを配信チャンネルとしながら、ソーシャルビデオキャンペーンを構築するのがVaynerMediaである。ユニリーバ、ペプシコ、トヨタ、Diageo、GE、ABInBevなど大手広告主のキャンペーンを取り扱っている。

Cognitiv : AI マーケティングプラットフォーム

AI・ディープラーニングテクノロジーをマーケティング業務に使うためのプラットフォームを提供するのがCognitivである。ディスプレイ、ビデオ、検索広告購買で、広告主が第1者データを利用しながら、独自のAIエンジンを作ることができるとしていて、それを使って自動広告購買、最適化を可能にする。

IAB : 業界団体

業界団体として、広告・コンテンツ・デジタルビデオなどのスタンダードの構築や業界ガイドラインを作っているが、同時に同団体が運営するカンファレンスではメディア、エージェンシー、広告主向けにイノベーション、デジタルトランスフォーメーションなどのトピックがよく取り上げられている。アメリカでの業界のデジタル化やデジタル広告の現在の課題(ボット・広告詐欺、Viewability)などについて尋ねる。

ただし、上記は訪問を保証するものではありません。

◆ 基本日程表

	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	スケジュール	食事
1	2020年 6月7日 (日)	羽田空港	8:20		JR田町駅前ご集合(羽田空港 国際線ターミナル) チェックイン手続き終了後、待合室にて結団式 ※添乗員1名が全行程可成ります。 空路、直行便にてニューヨークへ(エコノミークラス利用) (所要時間約13時間05分、時差-14時間)	朝: 機内
		羽田空港発	11:00	JL006	～国際日付変更線通過～	
		ニューヨーク(JFK)着	11:05	専用車	到着後、「入国審査・通関・荷物受取」(80～90分程度) ガイドとともにホテルへ移動(約45分)	昼: ×
			11:50頃		ホテル到着後、自由昼食 織田氏によるセミナー(2時間程度) 会議室にて	夕: ○
			14:00		セミナー終了後、自由行動	
			16:00	徒歩	夕食:全体夕食会①:ホテル付近レストランにて 織田氏も同席頂き、ツアー参加者の顔合わせ懇談会を行います (ニューヨーク/市内ホテル 泊)	
2	6月8日 (月)	ニューヨーク	9:00	専用車	朝食:ホテル内 織田氏、通訳1名、ガイド1名が同行致します 企業視察①: 企業視察②: 昼食:ご自由にお召し上がりください 企業視察③: 視察終了後、ホテルへ 夕食:ご自由にお召し上がりください (ニューヨーク/市内ホテル 泊)	朝: ○ 昼: × 夕: ×
3	6月9日 (火)	ニューヨーク	9:00	専用車	朝食:ホテル内 織田氏、通訳1名、ガイド1名が同行致します 企業視察①: 企業視察②: 昼食:ご自由にお召し上がりください 企業視察③: 終了後、ホテルへ 夕食:ご自由にお召し上がりください (ニューヨーク/市内ホテル 泊)	朝: ○ 昼: × 夕: ×
4	6月10日 (水)	ニューヨーク	9:00	専用車	朝食:ホテル内 織田氏、通訳1名、ガイド1名が同行致します 企業視察①: 終了後、視察先へ 企業視察②: 視察終了後、ホテルへ 昼食:ご自由にお召し上がりください 午後に帰国しては、自由視察となります。 19:00 徒歩 夕食:全体夕食会①:ホテル付近レストランにて 織田氏も同席頂き、ツアーの振り返りと参加者の懇談会を行います (ニューヨーク/市内ホテル 泊)	朝: ○ 昼: × 夕: ○
5	6月11日 (木)	ニューヨーク ニューヨーク(JFK)発	13:25	専用車 JL005	朝食:ホテル内 ガイドとともに空港へ(約45分) 空路、直行便にて東京へ移動(エコノミークラス利用) (所要時間約14時間、時差+14時間) (機内泊)	朝: ○ 昼: × 夕: 機内
6	6月12日 (金)	東京(羽田)着	16:25		羽田空港着 到着後、流れ解散	朝: 機内

上記スケジュールは航空会社、訪問先等の都合により変更となる場合がございます。
予めご了承のほど、よろしくお願い致します。

利用ホテル:ザ ワトソン ホテル もしくは ハンプトンイン タイムズスクエア サウス
利用航空会社: JL (日本航空)

織田氏ツアー同行期間: 2020年6月7日(日)～6月10日(水)(日程表記載の通り)

募集概要

- 旅行期間 : 2020年6月7日(日)~6月12日(金) <4泊6日>
- 訪問都市 : ニューヨーク
- 旅行代金 : 【会員企業様】 大人お1名様 668,000円(ツインまたはダブル1名1室ご利用)
【非会員企業様】 大人お1名様 708,000円(ツインまたはダブル1名1室ご利用)
※上記旅行代金以外に、燃油サーチャージ(目安21,600円)が別途必要となります。
また、海外空港諸税(7,150円)、国際観光旅客税(1,000円)、国内空港旅客サービス施設使用料(2,610円)が別途必要になります。(いずれも2020年1月20日現在の額です。)
- 募集人員 : 25名様
- 最少催行人員 : 15名様(この人数に達しない場合、当視察の催行を中止する場合がございます。)
- 添乗員 : 日本から全行程同行いたします。
- 利用ホテル : ザ ワトソン ホテル もしくは ハンプトンイン タイズムスクエア サウス
※ツインまたはダブル1名1室利用
上記いずれかのホテルの料金は同一となります。
- 日本発着時利用航空会社 : 日本航空(JL) ※エコノミークラス利用
- 食事条件 : 朝食4回、昼食0回、夕食2回
※ビジネスクラス追加代金 : 別途お問合せ下さい。
- 申込締切 : 2020年4月1日(水)

【旅行代金に含まれるもの】

- (1) 旅行日程に明示した当該クラス航空運賃、観光・視察代金(バス料金、ガイド・通訳料金、入場料金)
- (2) 旅行日程に明示した宿泊代金(ツインまたはダブルお1名様1部屋利用)及び税・サービス料
利用ホテル : ハンプトンイン タイズムスクエア ノース
- (3) 旅行日程に明示した食事料金(朝4回、昼0回、夕2回/機内食を除く)
- (4) 手荷物運搬料金(原則としてお1名様につきエコノミークラス23kg2個まで、ビジネスクラス32kg以内のスーツケース2個まで)
- (5) 現地セミナーに関する費用(会場代金、通訳代金、講師料金)
- (6) 団体行動に必要なチップ、ポータレージ関係諸費用
- (7) 添乗員同行費用

【旅行代金に含まれないもの】

- (1) 食事時の追加飲物、電話、電報、クリーニング等個人的費用とそれに関わる諸費用(税金・サービス料・チップ等)
- (2) パスポート取得費用:印紙代9,000円(5年用)、14,000円(10年用)、証紙代2,000円(5・10年用)
- (3) 電子渡航認証システム(Electronic System for Travel Authorization: ESTA)登録代行料金(6,600円)、ESTA登録料14ドル
- (4) 超過手荷物料金(規定の重量、容量、個数を超える分)
- (5) 日本国内における自宅から発着空港までの交通費、宿泊費
- (6) 任意で加入する海外旅行保険及び外貨代金
- (7) 燃油サーチャージ(目安21,600円)、海外空港諸税(7,150円)、国際観光旅客税(1,000円)、国内空港旅客サービス施設使用料(2,610円)が別途必要になります。(いずれも2020年1月20日現在の額です。)
- (8) 渡航手続書類作成代行費用

参加申込方法

- ・ 別紙参加申込書をメール添付、ご郵送またはFAXにてお送りください。
- ・ お申込書到着後、申込金 100,000円のご請求書を送付させていただきますので、お振込み口座をご確認の上、指定の期日までにお振込み下さい。(2020年4月28日(火)ご入金期日予定)
- ・ 当社が契約の締結を承諾し、申込金の受理をもって旅行契約が成立します。
- ・ 申込金は旅行代金、取消料の一部として取り扱います。
- ・ 残金は別途ご請求書をお送り致しますので、2020年5月29日(金)までにお振込み下さい。

企画協力 : 一般社団法人 日本インタラクティブ広告協会 (JIAA)
〒104-0061 東京都中央区銀座7丁目13-5 NREG 銀座ビル7階

旅行企画・実施 : 株式会社 JTB

観光庁長官登録旅行業第64号 一般社団法人日本旅行業協会正会員、旅行業公正取引協議会会員
〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11

【現地同行者のプロフィール】

織田浩一（おりた こういち）

米シアトルを拠点とし、日本の広告・メディア企業、商社、調査会社に向けて、欧米での新広告手法・メディアテクノロジー・IT調査・企業提携コンサルティングサービスを提供。また宣伝会議・日経BPでのコラム執筆、年間30以上の社内講演や一般講演をこなす。最近ではマーケティング・広告分野でのアルファブロガーとも言われている。また、日本のアルファブログネットワーク Agile MediaNetworkの社外取締役として、日本における新たなネットビジネス、ネットマーケティング手法の育成にも携わっている。著書には「TVCM崩壊」「リッチコンテンツマーケティングの時代」「次世代広告テクノロジー」など。ブログは、<<http://www.adinnovator.com/>> にて。

【ご参考】過去実施（最近4回）の海外視察のテーマ・訪問先

主なテーマ		訪問先
第18回米国視察 (2016年6月)	視察テーマ メディア・イノベーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ IAB ・ Moat ・ Google Zoo ・ Atp ・ YouNow ・ PageFair ・ Fahrenheit 212 ・ Vice Media
第19回米国視察 (2017年6月)	視察テーマ 次世代コンテンツマーケティングと新たなビデオ広告	<ul style="list-style-type: none"> ・ IAB ・ Opentopic ・ CNN ・ R/GA Ventures ・ Integral Ad Science ・ Droga5 ・ Clypd ・ Onespot
第20回米国視察 (2018年6月)	視察テーマ エージェンシー・媒体社のデジタルトランスフォーメーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ IAB ・ Accenture ・ ESPN ・ Hearst ・ Mic ・ Hearts & Science ・ MuseFind ・ Beeswax
第21回米国視察 (2019年6月)	視察テーマ デジタルトランスフォーメーション： 変革するメディア・広告業界	<ul style="list-style-type: none"> ・ Amazon ・ Optimove ・ Group Nine Media ・ Chartbeat ・ IAB ・ Meredith ・ Twitch NY ・ Horizon Media

—お問い合わせ・お申込みは—

株式会社JTB 新宿第二事業部 営業第四課

〒163-0426 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング 26F

電話：03-5909-8114 FAX：03-5909-8139 E-MAIL：s_nakagawa071@jtb.com

担当：中川・井上／総合旅行業務取扱管理者：藤井 隆元

[営業時間]午前9時30分から午後5時30分（土曜・日曜・祝日休業）

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引の責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がありましたら、ご遠慮なく上記の総合旅行業務取扱管理者にご質問ください。

ご旅行条件（要約）

お申し込みの際には、必ず旅行条件書（全文）をお受け取りいただき、事前にご確認の上お申し込みください。

●募集型企画旅行契約

この旅行は（株）JTB（東京都品川区東品川 2-3-11 観光庁長官登録旅行業第 64 号。以下「当社」という）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」という）を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行のお申し込み及び契約成立時期

- (1) 所定の申込書に所定の事項を記入し、下記のお申込金を添えてお申し込みください。お申込金は、旅行代金お支払いの際差し引かせていただきます。
- (2) 電話、郵便、ファクシミリその他の通信手段でお申し込みの場合、当社が予約の承諾の旨通知した翌日から起算して 3 日以内に申込書の提出と 2020 年 4 月 28 日（火）迄に申込金の支払をしていただきます。
- (3) 旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、お申込金を受領したときに成立するものとします。
- (4) お申込金（おひとり）100,000 円

●旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって 60 日目にあたる日以降、21 日目にあたる日より前（お申し込みが間際の場合は当社が指定する期日まで）までにお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

●取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。（お一人様）

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって 30 日目にあたる日以降 3 日目にあたる日まで	旅行代金の 20%
旅行開始日の前々日～当日	旅行代金の 50%
旅行開始後又は無連絡不参加	旅行代金の 100%

* 貸切航空機を利用する旅行、日本出国時及び帰国時に船舶を利用する旅行及び旅行日程中に 3 泊以上のクルーズ船泊を伴う旅行に関しては、上記の表によらずコースページ内に記載する取消料に拠ります。

●旅行代金に含まれるもの

* 旅行日程に明示した運送機関の運賃・料金（注釈のないかぎりエコノミークラス）* 旅行日程に明示した観光の料金（バス料金・ガイド料金・入場料金）* 旅行日程に明示した宿泊の料金及び税・サービス料金（ツインまたはダブルルームに 1 人ずつの宿泊を基準とします。）* 旅行日程に明示した食事の料金及び税・サービス料金* 航空機による手荷物運搬料金* 現地での手荷物運搬料金（一部含まれないコースがあります。また、一部の空港・ホテルではお客様自身で運搬していただく場合があります。）* 渡航手続書類作成代行費用 これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻ししません。

●旅行代金に含まれないもの

前項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。
* 超過手荷物料金 * クリーニング代、電話電報料、ホテルのボーイ・メイド等に対する心付け、その他追加飲食等個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金 * オプションツアー料金 * 日本国内におけるご自宅から発着空港等集合・解散時点までの交通費・宿泊費 * ESTA 電子渡航認証システム代行申請代金 * 燃油特別附加運賃（目安 21,600 円）、国内空港旅客サービス施設使用料（2,610 円）、海外空港諸税（7,150 円）* 国際観光旅客税（1,000 円）（※いずれも 2020 年 1 月 20 日現在の額です）

●特別補償

当社は、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。

- 死亡補償金：2500 万円
- 入院見舞金：4～40 万円
- 通院見舞金：2～10 万円
- 携行品損害補償金：お客様 1 名につき～15 万円（但し、補償対象品 1 個あたり 10 万円を限度とします。）

●「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

当社提携クレジットカード会社のカード会員（以下「会員」といいます。）より「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払いを受ける」こと（以下「通信契約」といいます）を条件にお申し込みを受けた場合通常の旅行条件とは以下の点で異なります。（受託旅行者により当該取扱ができない場合があります。また取扱できるカードの種類も受託旅行者により異なります。）

- (1) 契約成立は、当社が電話又は郵便で旅行契約の締結の承諾通知を発信したとき（e-mail 等電子承諾通知を利用する場合は、その通知がお客様に到達したとき）とします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等を通知して頂きます。
- (2) 「カード利用日」とは旅行代金等の支払い又は払戻し債務を履行すべき日をいいます。旅行代金のカード利用日は「契約成立日」とします。また取消料のカードの利用日は「契約解除依頼日」と

します。（但し、契約解除依頼日が旅行代金のカード利用日以降であった場合は、当社は旅行代金から取消料を差し引いた額を解除依頼日の翌日から起算して 7 日間以内をカード利用日として払い戻します。）

- (3) 与信等の理由により会員のお申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、当社が別途指定する期日までに現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

●旅券・査証について

（日本国籍以外の方は、自国の領事館、渡航先国の領事館、入国管理事務所にお問合せください。）

1. 旅券（パスポート）：この（パンフレット記載の）旅行には、帰国時まで有効な（入国時 90 日以上が望ましい）IC 旅券又は機械読取式旅券が必要です。
2. 査証（ビザ）：この（パンフレット記載の）旅行には、査証は不要です。但し、米国では短期滞在査証免除国の国民が査証免除対象として入国する際、渡航 72 時間前までにインターネットを通じて査証免除可否チェックを受けるシステム（電子渡航認証システム、以下「ESTA」）でも申請を義務付けております。（申請には 14 米ドルの費用がかかります）登録は専用のウェブサイト <https://esta.cbp.dhs.gov/> より行い、認証が拒否された場合は査証の取得をしない限り航空機への搭乗や入国が出来なくなりますので、早めに登録手続きをお願いします。また、認証拒否ならびに査証未取得に伴う旅行取り消しについては、所定の取消料がかかります。なお、ESTA での認証は米国入国認証ではないため、入国時の入国審査は従来通り行われます。情報は 2020 年 1 月 20 日現在となり、予告なく変更となる場合がありますので、旅行申込販売店へ必ず最新情報をご確認ください。

●保健衛生について

渡航先の衛生状況については、厚生労働省「検疫感染症情報」ホームページ：<http://www.forth.go.jp/> でご確認ください。

●海外危険情報について

渡航先（国又は地域）によっては、外務省「海外危険情報」等、国・地域の渡航に関する情報が発表されている場合があります。お申し込みの際に販売店より「海外危険情報に関する書面」をお渡しいたします。また、「外務省海外安全ページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/>」でもご確認ください。

●海外旅行保険への加入について

海外において、病気・けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で十分な額の海外旅行保険に加入することをお勧めします。海外旅行保険については、販売店の係員にお問合せください。

●空港諸税について

渡航先の国又は地域によっては、その国の法律などにより渡航者個人に対して空港税等（出入国税、空港施設使用料、税関審査料等）などの支払が義務付けられています。各コースに表示されている旅行代金には、空港税等は含まれておりませんので、別途お支払いが必要です。（当社が日本円で収受する場合は、ご出発の 35 日前に、水～土曜日発は 5 週間前の月曜日午前中、日～火曜日発は 6 週間前の月曜日午前中の終値（いずれも三菱東京 UFJ 銀行売渡レート）により換算し、確定いたします。）

●事故等のお申し出について

旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに同行の添乗員・ガイド、または、最終日程表でお知らせする連絡先にご通知ください。（もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。）

●個人情報の取扱について

- (1) 当社及び販売店は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただきます。お客様がお申し込みいただいた旅行サービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲内、当社の旅行契約上の責任、事故時の費用等を担保する保険の手続き上必要な範囲内、並びに旅行先の土産品店でのお客様のお買い物等の便宜のために必要な範囲内でお申し込みいただいたパンフレット及び最終旅程表に記載された運送・宿泊機関等及び保険会社、土産品店に対し、お申し込み時いただいた個人情報及び登録される航空便名に係る個人データを、予め電磁的方法等で送付することにより提供いたします。
- (2) 当社及び販売店は、旅行中に疾病・事故等があった場合に備え、お客様の旅行中の連絡先の方の個人情報を伺っています。この個人情報は、お客様に疾病等があった場合で連絡先の方へ連絡の必要があると当社が認めた場合に使用させていただきます。お客様は、連絡先の方の個人情報を当社及び販売店に提供することについて連絡先の方の同意を得るものとします。
- (3) その他、個人情報の取り扱いについては、ご旅行条件書（全文）の「個人情報の取扱」をご参照ください。なお、当社の個人情報に関するお問い合わせ窓口は次の部署になります。
株式会社 JTB お客様相談室 〒140-8602 東京都品川区東品川 2-3-11
<https://www.jtb.co.jp/form/inquiry/wmform.asp>

●旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は 2020 年 1 月 20 日を基準としています。又、旅行代金は 2020 年 1 月 20 日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

E2001029